

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 12月

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 富樫 一智

■ 研究課題名

大腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除法の短期及び長期治療成績に関するコホート研究

■ 研究期間

2024年12月 ～ 2027年12月

■ 研究の目的・意義

消化管腫瘍に対する内視鏡治療は、古典的ポリペクトミーに始まり、近年における進歩にはすさまじいものがあります。内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) が長らくその主役を演じてきましたが、最近、登場した浸水下内視鏡的粘膜切除法 (underwater endoscopic mucosal resection, UEMR) は、ESD に比較して簡便性が高いことや、従来型の内視鏡的粘膜切除 (conventional endoscopic mucosal resection, CEMR) に比べて、理論的に周術期合併症が少ないのではないかと考えられています。また、UEMR は一括切除率が高いため、組織学的断端陽性率が低いことが予測されます。会津医療センターでは、以前より積極的にこの治療法を導入してきましたので、この治療成績について検討し、今後の課題を探ることを研究目的としています。

■ 研究対象となる方

2018年11月から2024年10月までに、会津医療センターで大腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除 (UEMR) 従来型の内視鏡切除 (CEMR) を受けた患者さんが対象です。

■ 研究の方法

上記対象患者の情報を診療録により調査し、その情報を解析します。収集する情報は、以下の項目となります。

調査項目：年齢、性別、検査理由、既往歴、内服薬、病変の存在部位・形態・腫瘍径・切除前の病期診断、内視鏡治療方法、使用した器具 (device)、切除標本の状態 (径・切片数など)、病理組織所見、周術期合併症、一括切除率完遂、術者、血液検査結果、転帰

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年12月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座であり、研究責任者は小腸・大腸・肛門科学講座 富樫一智です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

提供いたしません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田2-1-2

福島県立医科大学会津医療センター消化器内科学講座 担当 中島勇貴

電話：0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail: naka1008@fmu.ac.jp